Oshima
Letter

# 大島レター

# 1

10
Octorber
2016

# 目次


〈ごあいさつ①〉
瀬戸内国際芸術祭の大島における取り組みについて
北川フラム（瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター） 2

〈ごあいさつ②〉
こえび隊の日々の活動のこと
笹川尚子（こえび隊 大島担当） 3

〈最近の活動紹介〉 7月27日（水）― 29日（金）
大島に行こう！アートと自然を楽しむ子どもサマーキャンプ 4

〈連載コーナー〉
瀬戸内放送局　今月の「大島アワー」 5

〈最近の活動紹介〉 10月28日（金）
社会交流会館プレオープン 6

編集後記

# 瀬戸内国際芸術祭の大島における取り組みについて

北川フラム　Fram Kitagawa　（瀬戸内国際芸術祭総合ディレクター）

瀬戸内国際芸術祭が始まる際のこと、入所者の合意を得て大島がその舞台になることが決まった時、入所者の人たちの気持ちを享け、それに伴走しようと思いました。ここでの、隔離され差別された中での記憶とその中でも前向きに生きようとした希望についてです。そこでの作業は、

①記憶・記録を遺す作業、外部の人にその実態を知ってもらい、交流する作業。 ― これが社会交流会館の実現と、その中身につながりました。

②より深く、そこに生きた人々の尊厳に迫る作業。 ― これがGALLARY15、北海道書庫、大島資料室で行われた展示、カフェ・シヨル、ガイドツアー、月1の園内ラジオ放送「大島アワー」です。

③大島青松園に関わり、関わってきた、あるいは心を寄せている人たちのネットワークをつくり、今後やっていくことにつなげる作業。 ― 葬儀、盆供養、あおぞら市などのお祭り

④将来、大島がそれらの記憶の場所となり、世界中の子ども達が安心して楽しめる、希望の場所になっていくための作業。 ― 大島こどもサマーキャンプ

大島レターはそれらの活動をお伝えするための連絡帖です。大島の行事、告知などをまとめてお伝えしていきます。

〈ごあいさつ②〉

# こえび隊の日々の活動のこと

笹川尚子（こえび隊　大島担当）
Shoko Sasakawa

私たちこえび隊は、瀬戸内国際芸術祭をきっかけに２０１０年から大島へ通っています。

今年は3回目の芸術祭の年。私たちは、毎日ガイドツアーを開催し、来島者の方にまずは大島やハンセン病の歴史を知ってもらうために島の要所と作品場所までを案内しています。大島に来られるお客さんは、初めての人が8割程度、リピーターの人は2割程度です。今年は香港、台湾、シンガポール、アメリカ、オーストラリアなど世界中から訪れていて、芸術祭や大島への関心度は高まっているように思います。こえび隊も海外の参加が増えているので、日本語、中国語、英語でガイド対応することもしばしば。海外のお客さんからも好評です。

# 大島に行こう！
# アートと自然を楽しむ子どもサマーキャンプ

7月27日（水）― 29日（金）

高松市主催のサマーキャンプは3回目を迎え、小学生から中学生まで22名が参加しました。ＮＨＫ「にほんごであそぼ」に出演中のおおたか静流（しずる）さんによる声のおえかきワークショップを開催しました。小さい頃からテレビでおおたか静流さんを見ていた参加者も多くいました。最初は緊張していた子どもたちもワークショップが進む中ですぐに緊張がほぐれて、子どもたちの感性の豊かさに改めて感心した内容となりました。野田三千代さんによる海藻おしばワークショップでも同様でした。最終日は、おおたか静流さんと子どもたちのワークショップの成果を大島のみなさんの前で発表しました。元気な子どもたちの声が響き渡り、それを聞いた大島のみなさんも喜んで鑑賞していました。暑い夏の大島で、子どもたちは元気にのびのびと自然に親しみ、大島の歴史を学んだ3日間となりました。

〈連載コーナー〉

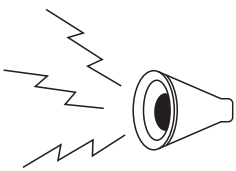
# 瀬戸内放送局　今月の「大島アワー」

2014年9月から始まったラジオ番組。毎月1回、こえび隊が手作りで企画・アナウンス・録音・編集し、園内限定で放送しています。大島のみなさんの趣味の話、クラブ活動の話、他の島々の出来事、アーティストからのメッセージなど、約15分間の番組です。

今月の大島アワーは「クラブ活動の話」です。野村宏さんから昔、魚釣りをしていたころのお話を聞きました。

昭和30年頃、魚釣りが好きな連中が集まって「漁友会」を結成したんやよ。船は、庵治の船大工さんに頼んで作ってもらった。当時は12,000円だったかな。３人が集まって一人4,000円出して購入したんよ。それを出したら、すっからかんになったけれど（笑）。

３人でこぎだして、島の周りで魚釣りをして楽しんでおった。向こうの無人島に行ったりしていたよ。そうすると、気分は晴れるし良かったね。昭和40年代の終わりから50年代のはじめの頃までしていたよ。そのころは魚釣りを楽しむ人がたくさんおったんよね。鯵を釣ったり。楽しんだもんですよ。



# 社会交流会館プレオープン

10月28日（金）

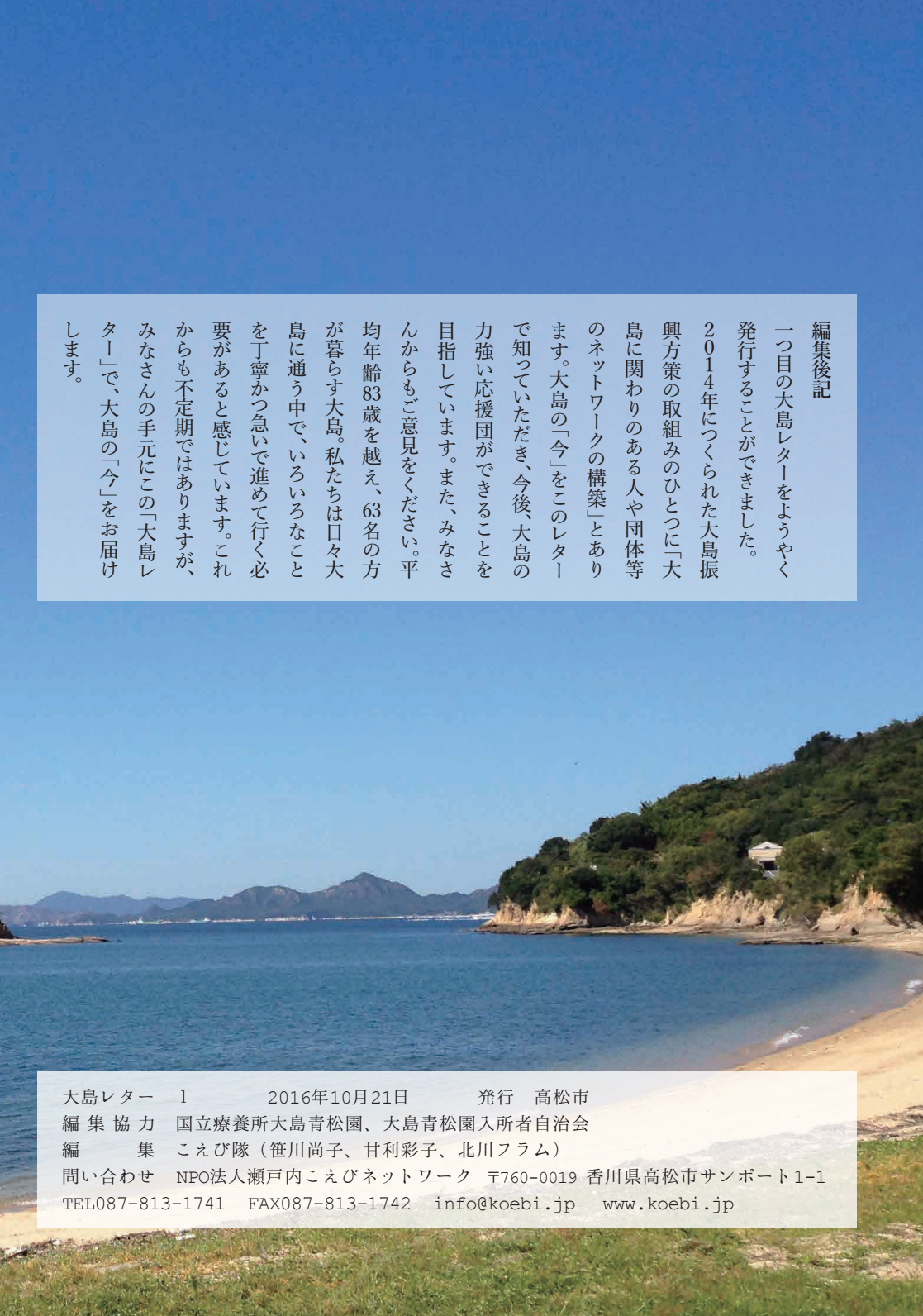
大島のみなさんの希望だった、社会交流会館「よってんまい」の一部がプレオープンします。

カフェ・シヨル、休憩室、多目的ホールがオープンし、今後は宿泊施設や展示室がオープンします。社会交流会館の入り口の顔となる看板をアーティストの田島征三さんと一緒につくりました。大島のみなさんから社会交流会館の愛称を募集したところたくさんの応募があり、自治会で選んだ結果「よってんまい」（讃岐弁でよってらっしゃいという意味）に決まりました。たくさんの方に気軽に来て欲しいという想いが込められています。看板は、大島の浜辺で拾った貝殻、シーグラス、陶器などを使い、看板の文字をつくりました。自然のものを使い、暖かみのある看板に仕上げています。

ぜひ一度よってんまい！

## 編集後記

一つ目の大島レターをようやく発行することができました。2014年につくられた大島振興方策の取組みのひとつに「大島に関わりのある人や団体等のネットワークの構築」とあります。大島の「今」をこのレターで知っていただき、今後、大島の力強い応援団ができることを目指しています。また、みなさんからもご意見をください。平均年齢83歳を越え、63名の方が暮らす大島。私たちは日々大島に通う中で、いろいろなことを丁寧かつ急いで進めて行く必要があると感じています。これからも不定期ではありますが、みなさんの手元にこの「大島レター」で、大島の「今」をお届けします。



大島レター　1　　2016年10月21日　　発行　高松市
編集協力　国立療養所大島青松園、大島青松園入所者自治会
編　　集　こえび隊（笹川尚子、甘利彩子、北川フラム）
問い合わせ　NPO法人瀬戸内こえびネットワーク　〒760-0019 香川県高松市サンポート1-1
TEL087-813-1741　FAX087-813-1742　info@koebi.jp　www.koebi.jp